

令和元年度 第2回 高槻市都市計画審議会

## 報告事項 1

高槻市都市計画マスタープランの改定について



# 令和元年度 第2回 高槻市都市計画審議会

## 報告事項 1

### ～高槻市都市計画マスタープランの改定について～

令和2年1月21日

#### 目次

1	これまでの取組	1 ページ
2	現状・動向の整理	3 ページ
3	課題の整理	10 ページ
4	都市づくりの基本理念と目標	10 ページ
5	地区別懇談会 結果概要	11 ページ
6	今後の予定	11 ページ

#### 資料掲載データ等について

データ等については、現時点で把握できる最新の情報を基本に掲載しています。  
計画改定に向けては、引き続き最新の情報を随時確認の上、更新を行っていきます。

# 1 これまでの取組

## 1-1 スケジュール

項目	月	令和元年度												令和2年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
検討体制	都市計画審議会					8/6							1/21												
	常務委員会									10/29	11/27														
	策定委員会			6/28	7/23								12/24												
	幹事会				7/2~4					11/13~15			12/24												
計画検討	都市づくりの現状と課題	[Bar chart]												[Bar chart]											
	都市づくりの基本理念と目標	[Bar chart]												[Bar chart]											
	全体構想	[Bar chart]												[Bar chart]											
	地域別構想	[Bar chart]												[Bar chart]											
	都市計画マスタープラン(素案)の作成	[Bar chart]												[Bar chart]											
	都市計画マスタープラン(案)の作成	[Bar chart]												[Bar chart]											
住民参加	地区別懇談会(オープンハウス形式)	コミュニティ市民会議での周知 広報周知												[Bar chart]											
	説明会	[Bar chart]												[Bar chart]											
	パブリックコメント	[Bar chart]												[Bar chart]											
その他	高槻市総合計画	行政案の検討												行政案											
		審議会検討												パブリックコメント											

※ 進捗状況等により、予定を変更する場合があります

## 1-2 計画改定に向けた検討項目

### 1 都市計画マスタープランの改定に当たって

- 役割
- 位置づけ
- 現行計画の評価
- 見直しの視点

令和元年8月6日(火) 令和元年度第1回 都市計画審議会

### 2 都市づくりの現状と課題

- 捉えるべき都市の現状・動向の整理
- 都市づくりの課題の整理

令和元年10月29日(火) 令和元年度第1回 常務委員会

### 3 全体構想

- 都市づくりの基本理念と目標

令和元年11月27日(水) 令和元年度第2回 常務委員会

令和2年1月21日(火) 令和元年度第2回 都市計画審議会

- 今後の都市づくりの方向性・将来都市構造
- 都市整備の方針

### 4 地域別構想

- 地域区分の考え方
- 重点地区の都市づくりの方針
- 地域別の都市づくりの方針

今後の検討

### 5 都市づくりの推進方策

※検討状況に応じて、検討項目は変更する場合があります

# 1-3 前回の振り返り

## 現行計画

### 高槻市都市計画マスタープラン ～住みたい、住み続けたい、訪れたい都市たかつき～

#### 外部環境の変化

- 都市再生特別措置法の改正  
立地適正化計画制度の創設
- 都市緑地法等の改正

など

#### 現行計画の評価

現行計画の目標・方向性に沿った都市づくりが進められており、引き続き、長期的な視点での課題解決や取組が必要

など

#### 新たな都市づくりの取組

- 新名神高速道路の開通など交通環境の変化に対応した計画的なまちづくり
- 檜尾川以東の新駅設置と新たな市街地整備について鉄道事業者等との検討の深度化
- 高槻の歴史を継承するまちづくり
- 富田地区の老朽化した公共施設の再編等の取組

など

現行計画における基本的なまちづくりの考え方は継承



## 次期計画

### 高槻市都市計画マスタープラン見直しの視点

- コンパクトシティ・プラス・ネットワークによる誰もが住みやすく活力のあるまちの実現
- 市街地特性、地域特性をいかした都市拠点における戦略的な都市づくり
- 自然災害に強い安全・安心な都市づくり
- 地域主体の都市づくりの促進

#### 捉えるべき都市の現状・動向

1 人・住まい

2 土地利用

3 道路・交通

4 産業・にぎわい

5 みどり・景観

6 安全・安心

7 財政

8 地域協働

# 1-4 都市計画審議会及び常務委員会での主な意見

令和元年8月6日（火）  
令和元年度第1回 都市計画審議会

- <報告内容>
- 都市計画マスタープランの改定について
  - 現行計画の評価
  - 市民意識調査の結果
  - 地区別懇談会の実施
- ほか

#### 次期計画の検討に対する意見

- コンパクトシティ・プラス・ネットワークのネットワークの部分で次期計画では示していただきたい。
- 歩きやすい空間の整備として、高齢者などが安心して歩けるような中心市街地のあり方も検討していただきたい。
- 都市が成熟する時代における都市マネジメントについて考え、マネジメントの全体像が見えるマスタープランを検討していくことが必要。
- 安全・安心な都市づくりは、ハード面のみならず、自助・共助の意識向上を啓発していく必要がある。
- 交通での自動運転やMaaSといったシームレスな仕組みが実装されていく時代に向け、情報技術をどのようにまちづくりに活用していくかは非常に大きな課題となる。

など

令和元年10月29日（火）  
令和元年度第1回 常務委員会

- <議題>
- 都市づくりの現状と課題
  - 都市づくりの基本理念と目標

ほか

令和元年11月27日（水）  
令和元年度第2回 常務委員会

- <議題>
- 都市づくりの現状と課題
  - 都市づくりの基本理念と目標

ほか

#### 現状・動向及び課題整理に対する意見

- 都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針であり、市の全ての課題を解決することはできない。
- 計画とは現状と目指すべき都市像のギャップを埋めるものとして検討するべき。
- 限られた計画期間のなかで何を重点的に取り組むのかを絞る必要がある。
- 高槻市では、都市として強みとなることも多くあるはず。それらをいかすことも重要。
- 定住人口が増えるのは理想だが、交流人口にも目を向けることが必要。
- 現状・動向を踏まえて、都市計画としてどういう方向にもっていきたいのかを検討していくことが必要。
- 現状・動向の整理に当たっては、強みにも弱みにもなりうる項目もあると思う。そこは、高槻市としてどうしていきたいかということにも関連して、意思を示す形で整理してほしい。

など

# 2 現状・動向の整理

## 2-1 人・住まい

都市の現状・動向	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和27年の人口は平成27年の約8割まで減少と推計</li> <li>令和27年の後期高齢者人口比率は平成27年の約2倍まで増加と推計</li> <li>平成22年から平成27年の人口増減は高槻駅周辺で増加が見られる一方、市街地全体で減少し、特に南西地域などの減少が大きい</li> <li>高齢化率30%以上の地域は、北部森林地域や高槻東地域などでの分布が目立つ</li> </ul>	人口減少と高齢化の進行
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口は市街化区域に集中しているが、北部森林地域などの市街化調整区域にも分布</li> </ul>	広域的な人口分布
<ul style="list-style-type: none"> <li>世帯数は増加傾向にあるが、世帯当たり人員は減少</li> <li>単独世帯の増加が大きく、中でも65歳以上の単独世帯割合が世帯の1割に増加</li> </ul>	家族形態の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>「駅まで徒歩10分圏内」への住み替え意向が高く、「分譲マンション」への住み替え意向が増加</li> </ul>	居住ニーズの変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口の減少が進んでいる一方、住宅総数は年々増加</li> <li>空家率は全国・大阪府と比較すると低い水準だが、市内の空家数は年々増加傾向</li> <li>空家は市街地全体に分布</li> </ul>	市街地の空家が増加

### 人口推移と将来推計

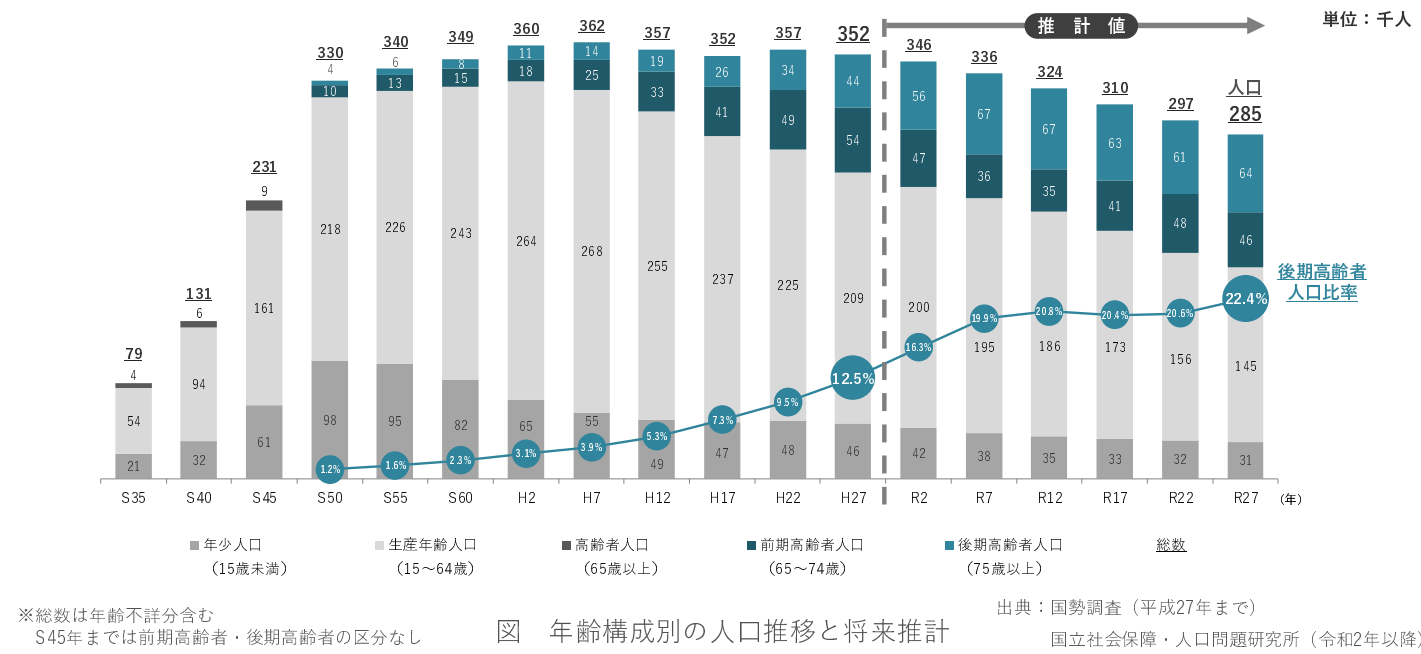


図 年齢構成別の人口推移と将来推計

### 人口分布

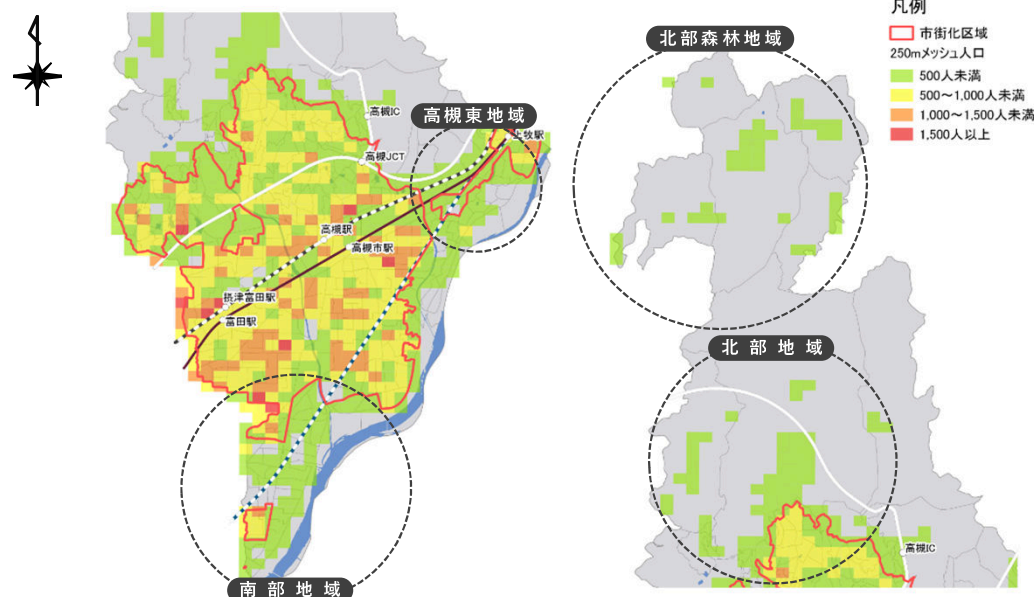


図 250mメッシュ人口分布

### 世帯構成の推移

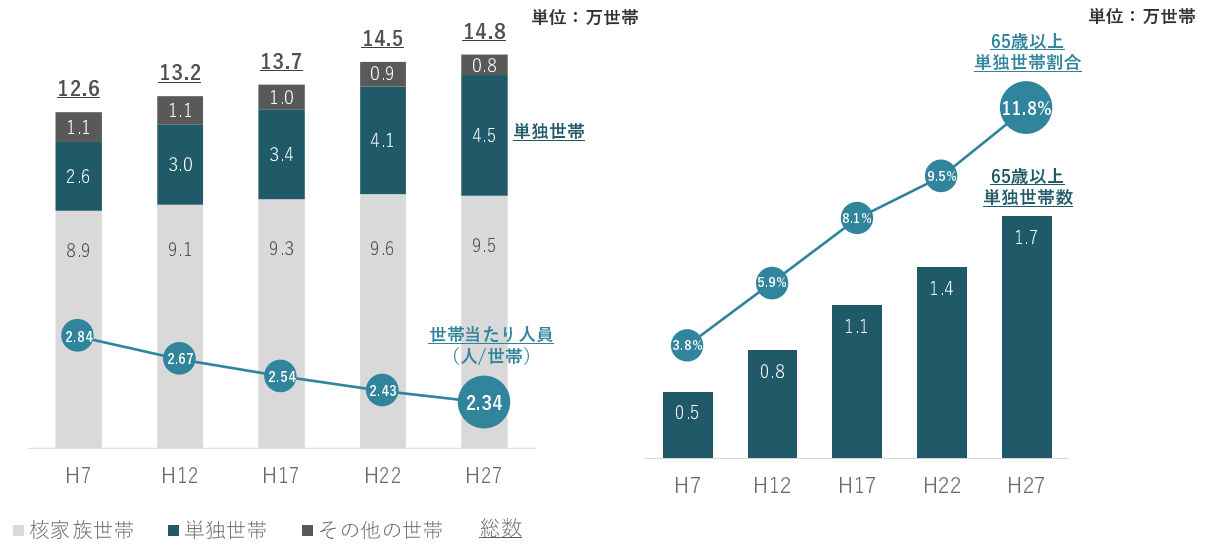
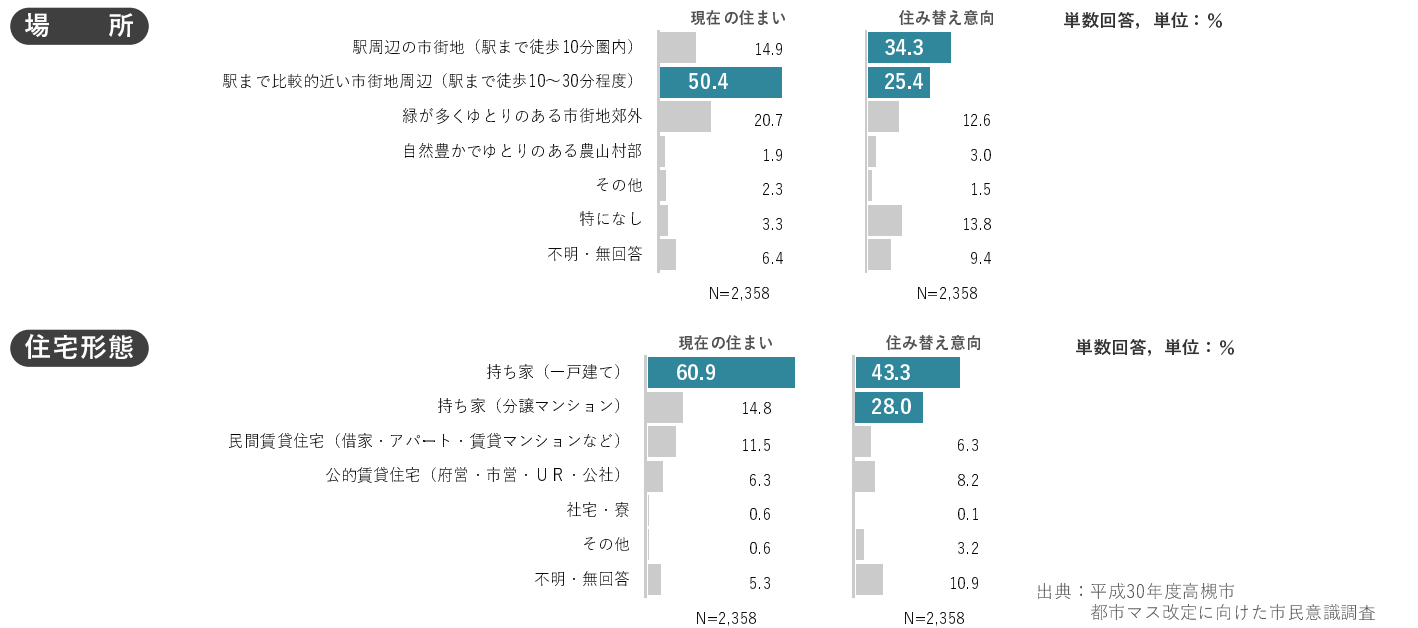


図 家族類型別世帯数の推移

図 65歳以上の単独世帯の推移

### 住み替え意向



### 空家の状況

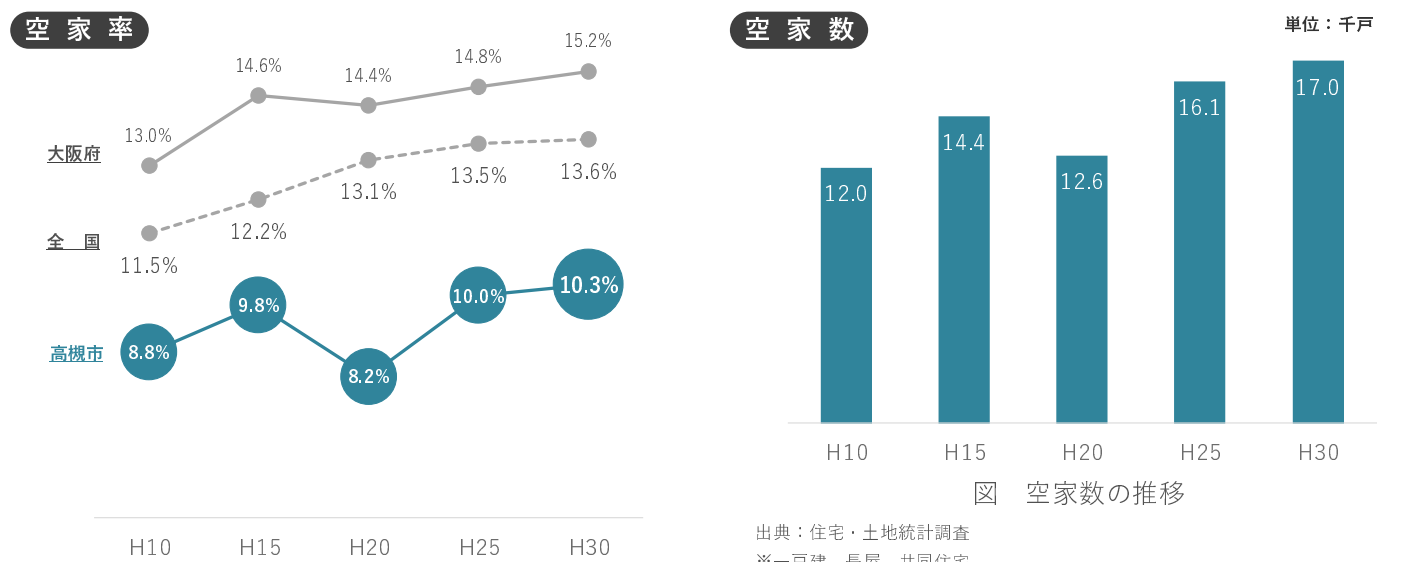


図 空家率の推移

図 空家数の推移

## 2-2 土地利用

都市の現状・動向	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市域の47.6%が山林、28.6%が市街地、8.3%が農地となっており、市街化区域では市街地が区域の78.1%、市街化調整区域では山林・農地が区域の78.6%を占める</li> <li>新たな道路整備など地域情勢の変化に伴い、計画的なまちづくりに取り組まれている地区では、市街化区域編入等の指定により適切な土地利用誘導を実施</li> <li>市街化調整区域における農地は全て農業振興地域に指定され、さらに檜田地区、三箇牧地区、五領地区において農用地が指定</li> <li>幹線道路沿道等においては、無秩序な開発を抑制し、地域特性を活かした土地利用の実現に向け取り組んでいる</li> </ul>	<p>都市と自然が共存</p> <p>適切な土地利用の誘導 無秩序な開発の抑制</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市域の31.8%が市街化区域となっており、うち82.2%が住居系用途</li> <li>DIDの面積は市街化区域の範囲と概ね一致しており、総人口の約97%がDIDに居住</li> <li>DIDにおける人口密度の推移は約10,000人/km<sup>2</sup>と高い水準を維持</li> </ul>	<p>高水準な人口密度を維持</p>

### 土地利用

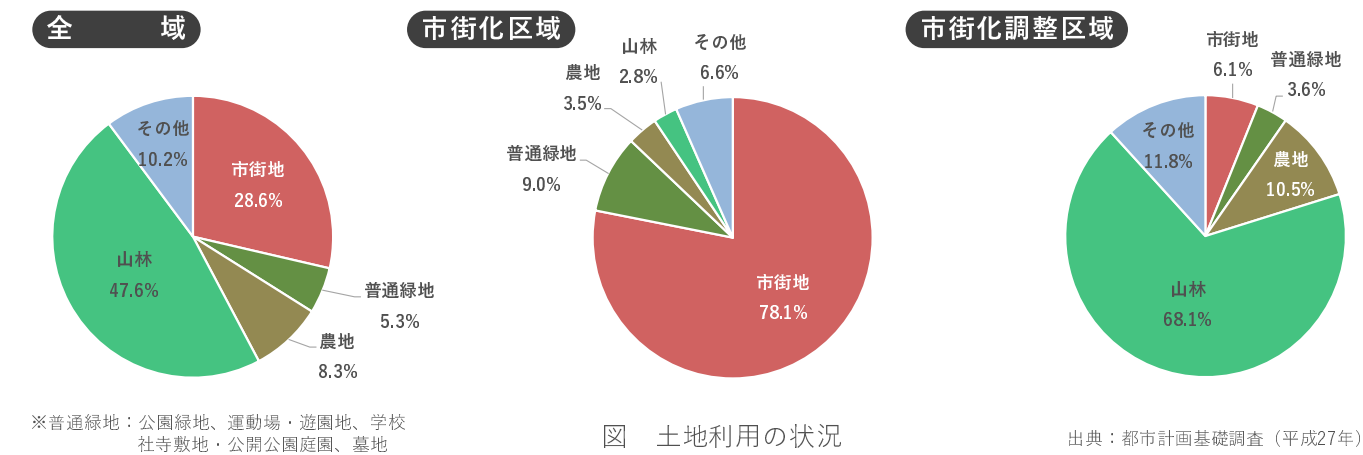


図 土地利用の状況

出典：都市計画基礎調査（平成27年）

### 主な都市計画の指定状況

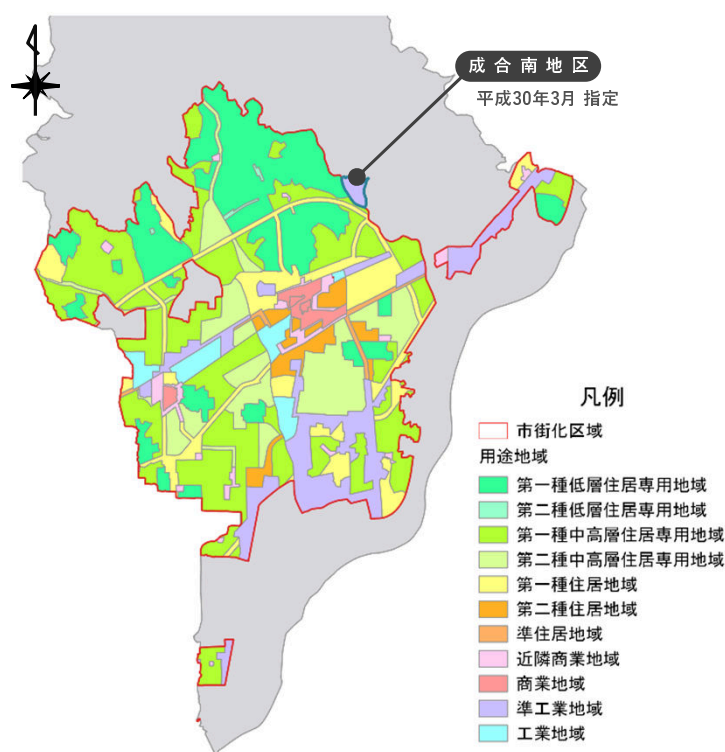


図 用途地域の指定状況

出典：高槻市資料（平成31年2月未現在）

### 農業地域

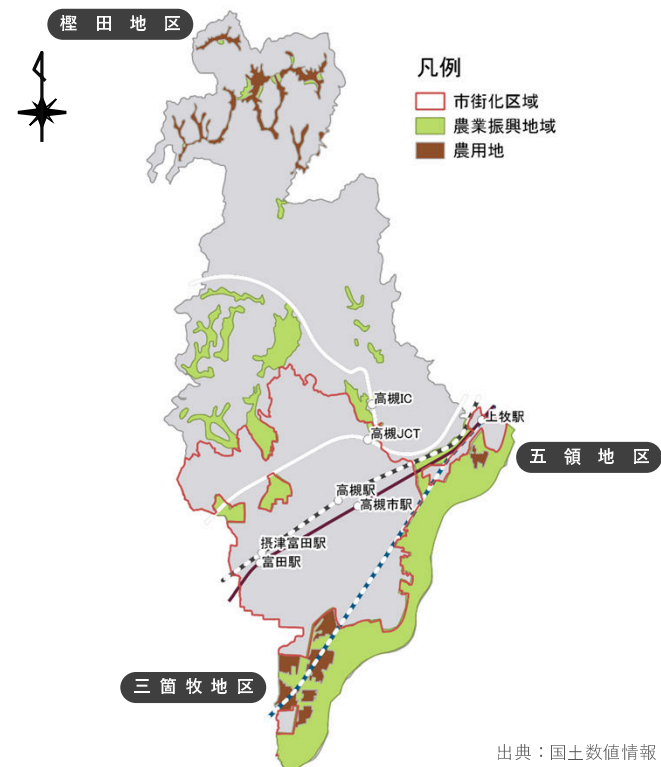


図 農業振興地域・農用地の指定状況（平成27年）

出典：国土数値情報

### 市街化調整区域における土地利用検討

#### 高槻インターチェンジエリアのまちづくり

##### 主な経過

出典：高槻市資料

- 平成19年12月 自治会等が計画的なまちづくりに向けた勉強会を開始
- 平成23年1月 成合まちづくり協議会が発足
- 平成29年12月 高槻ジャンクション・インターチェンジが供用開始
- 平成30年3月 都市計画決定・変更  
区域区分（市街化区域編入）等
- 8月 「高槻市成合南土地区画整理組合」の設立認可

出典：西日本高速道路

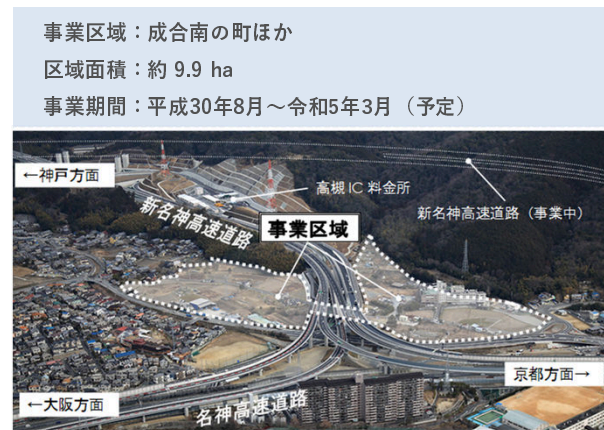


図 高槻インターチェンジエリアのまちづくり

#### 新駅設置と新たな市街地形成の検討

##### 主な経過

出典：高槻市資料

- 平成30年4月～ 市とJR西日本が新駅設置を含む新市街地の形成の可能性検討を開始
- 令和元年5月～ 市が高槻東地域における新駅設置と新たな市街地形成の検討状況について、自治会、実行組合と意見交換等を実施

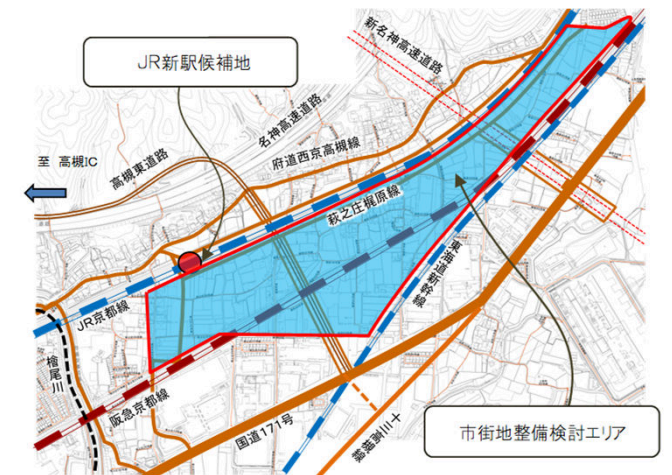


図 検討エリア

### DID（人口集中地区）



図 DIDの状況（平成27年）

出典：国土数値情報

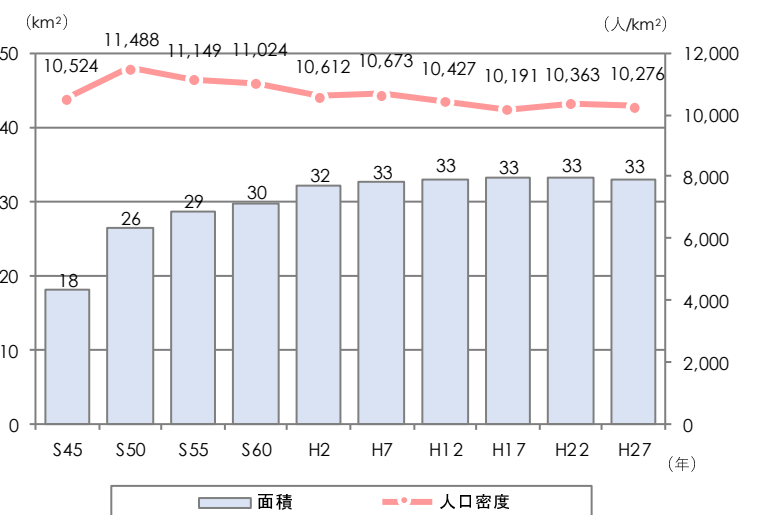


図 DIDにおける面積と人口密度の推移 出典：国勢調査

※DID（人口集中地区）：人口密度が1km<sup>2</sup>当たり4,000人以上となる地区等

都市の現状・動向

- 本市は、国土軸に位置し、新名神高速道路の整備など交通利便性の高い広域的な道路網を形成
- 新名神高速道路や高槻IC・JCTが開通し、関連道路の開通や整備促進が図られている
- 公共交通の人口カバー率は8割以上
- 1日当たり鉄道利用者数及び1人当たりバス乗車回数は、近年は横ばいで推移
- 主に鉄道沿線市町への移動が多く、流入よりも流出が多い
- 都市計画道路の整備率は、整備促進とともに計画の見直しが実施され、平成30年度末時点で66.1%
- 未整備区間の多くは、現道のある区間となっているが、バス通りなどの幹線道路等で狭隘区間が存在
- バリアフリー基本構想に基づき、駅周辺などの重点整備地区を中心とした先進的なバリアフリー化を進めている
- 情報通信技術の高度化による都市の情報化とともに、データを活用した地域課題解決への取組を推進

高い交通利便性  
ベッドタウンとして発展

狭隘な幹線道路等の存在

先進的なバリアフリーの取組

ICTの活用

都市計画道路

都市計画道路の整備状況

単位：km

	整備済延長	合計延長	整備率
府決定	34.6	56.6	61.0%
市決定	23.5	31.3	75.3%
計	58.1	87.9	66.1%

※整備済延長：計画幅員どおり舗装され、且つ、供用されている道路延長

未整備区間の状況

単位：km

	延長
未整備区間	22.6
現道あり	15.9
現道なし	6.7

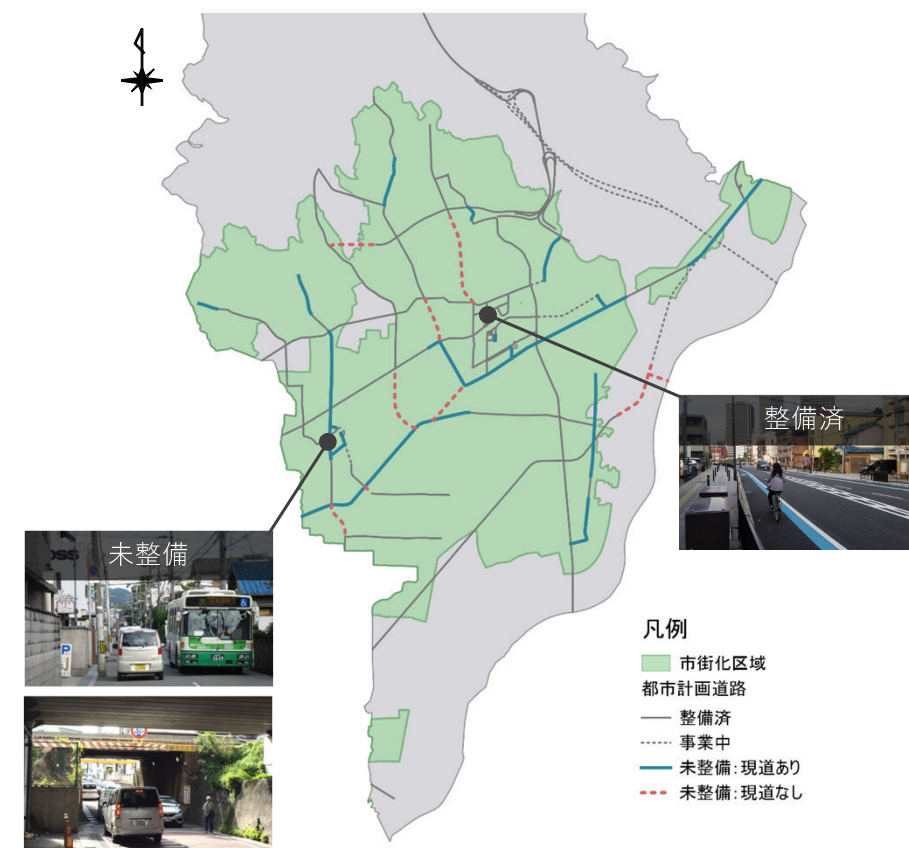


図 都市計画道路の整備状況 (平成30年度)

出典：高槻市資料

広域的道路網



図 幹線道路ネットワークの整備図

出典：大阪府資料

公共交通体系

	市域人口 (人)	カバー圏人口 (人)	人口カバー率 (%)
平成27年	351,829	295,253	83.9%

※対象駅：市内5駅のほか、JR総持寺駅・阪急総持寺駅を含む公共交通網については、最新に更新して算出

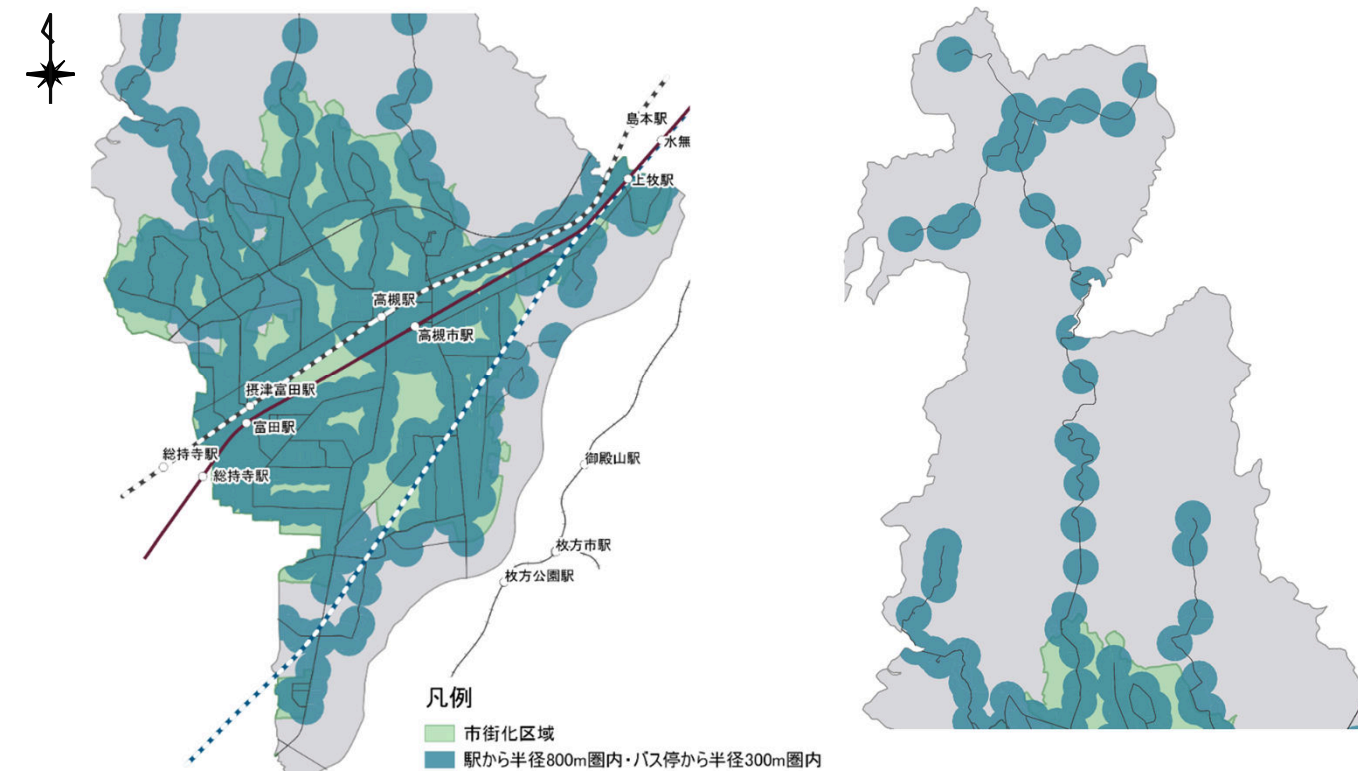


図 駅から半径800m圏内及びバス停から半径300m圏内の人口カバー状況

出典：国勢調査（平成27年）  
国土数値情報より高槻市作成

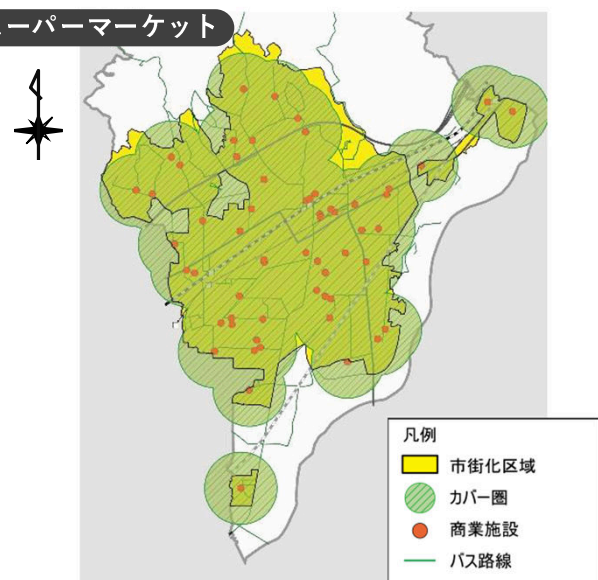
## 2-4 産業・にぎわい

### 都市の現状・動向

<ul style="list-style-type: none"> <li>産業構造は第3次産業の占める割合が高く、産業分類別では都市機能に必要な卸売業・小売業と医療・福祉の割合が高い</li> <li>平成22年の市街化区域におけるスーパーマーケットの人口カバー率は95.9%</li> <li>平成22年の市街化区域における医療施設の人口カバー率は98.5%</li> </ul>	充実した都市機能
<ul style="list-style-type: none"> <li>総農家数と経営耕地面積はともに年々減少</li> <li>農業従事者及び農業就業人口の平均年齢は年々高齢化</li> </ul>	農業従事者の減少と高齢化
<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺における通行者数（平日）は減少傾向</li> <li>平成27年の高槻市の観光客数は100万人を超えている</li> </ul>	駅周辺の通行者数（平日）の減少 観光客数の増加

### 都市機能

#### スーパーマーケット

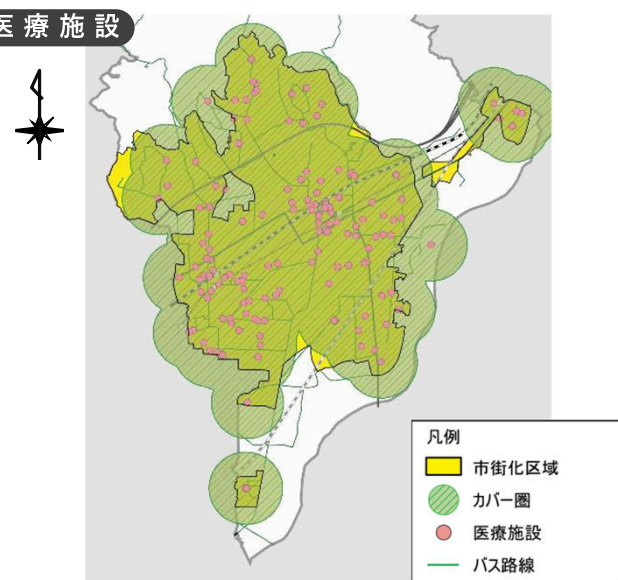


	市街化区域人口 (人)	カバー圏人口 (人)	人口カバー率 (%)
平成22年	312,843	300,074	95.9

図 スーパーマーケットの分布と人口カバー率

※カバー圏：一般的な徒歩圏としている半径800mの範囲

#### 医療施設



	市街化区域人口 (人)	カバー圏人口 (人)	人口カバー率 (%)
平成22年	312,843	308,082	98.5

図 医療施設の分布と人口カバー率

出典：高槻市立地適正計画

### 農業

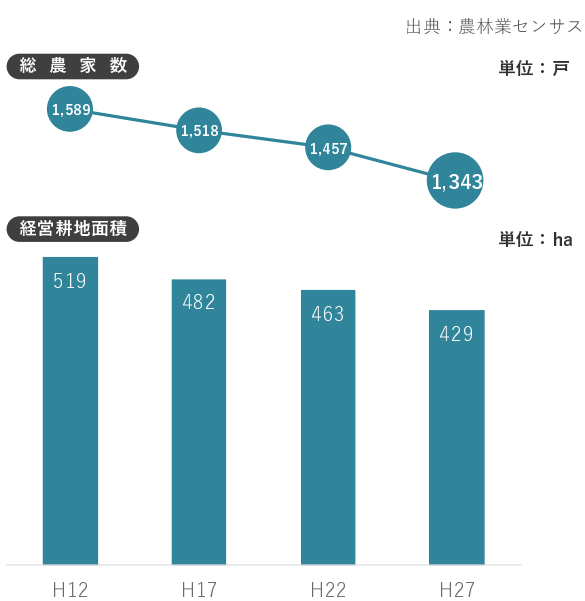


図 総農家数と経営耕地面積の推移

※経営耕地  
= 所有地（田、畑、樹園地）- 貸付耕地 - 耕作放棄地 + 借入耕地

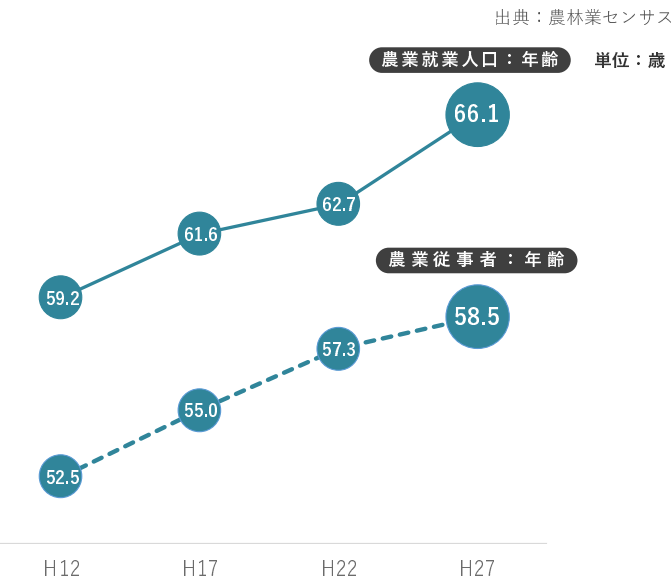
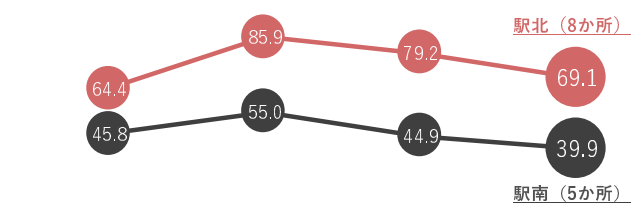
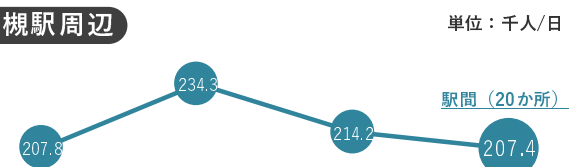


図 農業従事者と農業就業人口の平均年齢

※農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、調査期前1年間に自営農業に従事した者  
農業就業人口：農業従事者のうち、調査期前1年間に自営農業のみに従事した者、農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者の人口

### 駅周辺の通行者数

#### 高槻駅周辺



H19.7 H22.10 H25.11 H28.9

曇りのち雨 晴れ 晴れ 曇り

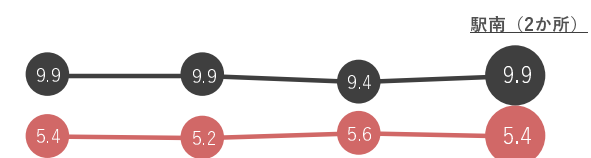
● 駅北（8か所） ● 駅間（20か所） ● 駅南（5か所）

図 高槻駅周辺の通行者数（平日）

※通行者数：歩行者・自転車の通行者数

駅北：JR駅北側 駅間：JR駅・阪急駅の間 駅南：阪急駅南側

#### 富田駅周辺



H19.7 H22.10 H25.11 H28.9

曇りのち雨 晴れ 晴れ 曇り

● 駅北（1か所） ● 駅間（5か所） ● 駅南（2か所）

図 富田駅周辺の通行者数（平日）

出典：高槻市資料

単位：千人/日

### 観光客数

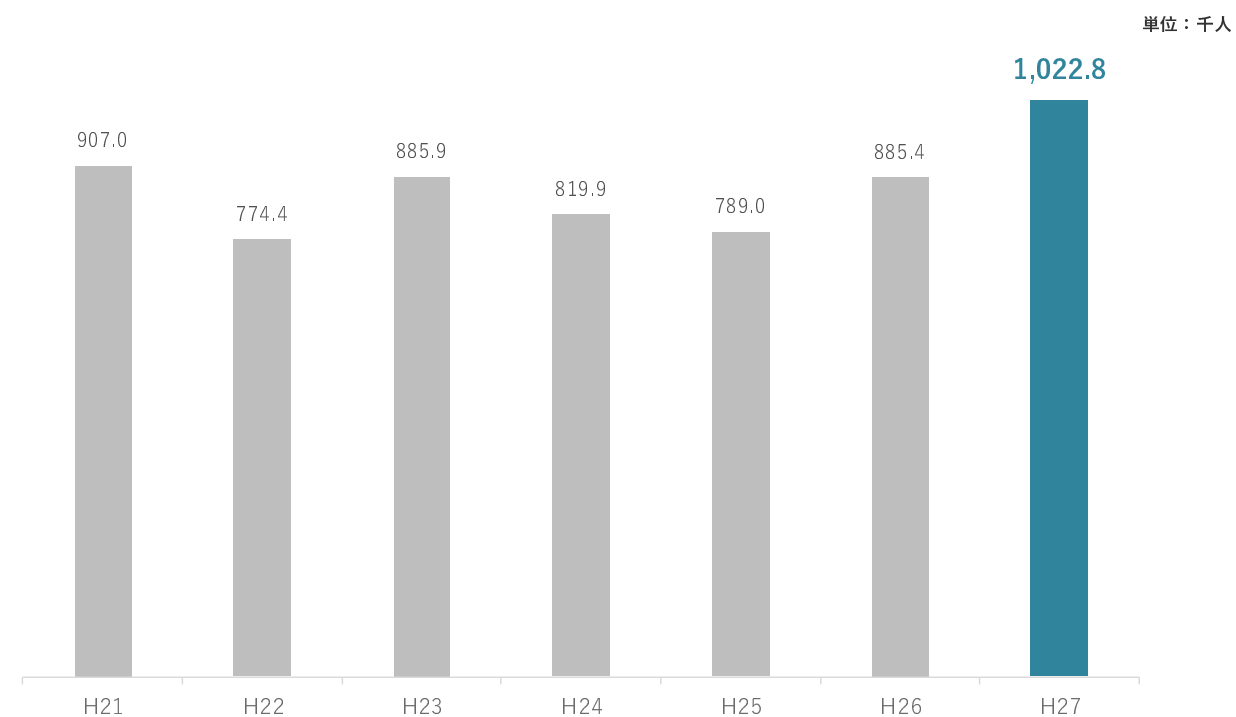


図 高槻市の観光客数の推移

出典：高槻市中心市街地活性化基本計画

※観光施設（17か所）：あくあびあ、しろあと歴史館など、宿泊施設（9か所）：摂津峡キャンプ場、ホテルなどにおける調査



## 2-5 みどり・景観

### 都市の現状・動向

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大阪と京都を中心とした都市部の気温上昇が見られ、ヒートアイランド現象が進行</li> <li>● 平成27年度の温室効果ガス排出量は、平成2年度比で約1.5%増となったが、前年度比では約4.0%減少</li> <li>● 生産緑地地区の指定面積は年々減少</li> <li>● 北摂連山の山並み、農山村集落や里山、淀川や芥川などの水辺といった自然環境のほか、安満遺跡公園、今城塚古墳、西国街道などの歴史・文化資源も多く存在</li> </ul>	<p>地球環境問題の深刻化</p> <p>都市にあるべき農地の減少</p> <p>景観・歴史等の豊富な地域資源</p>
---	---

### ヒートアイランド

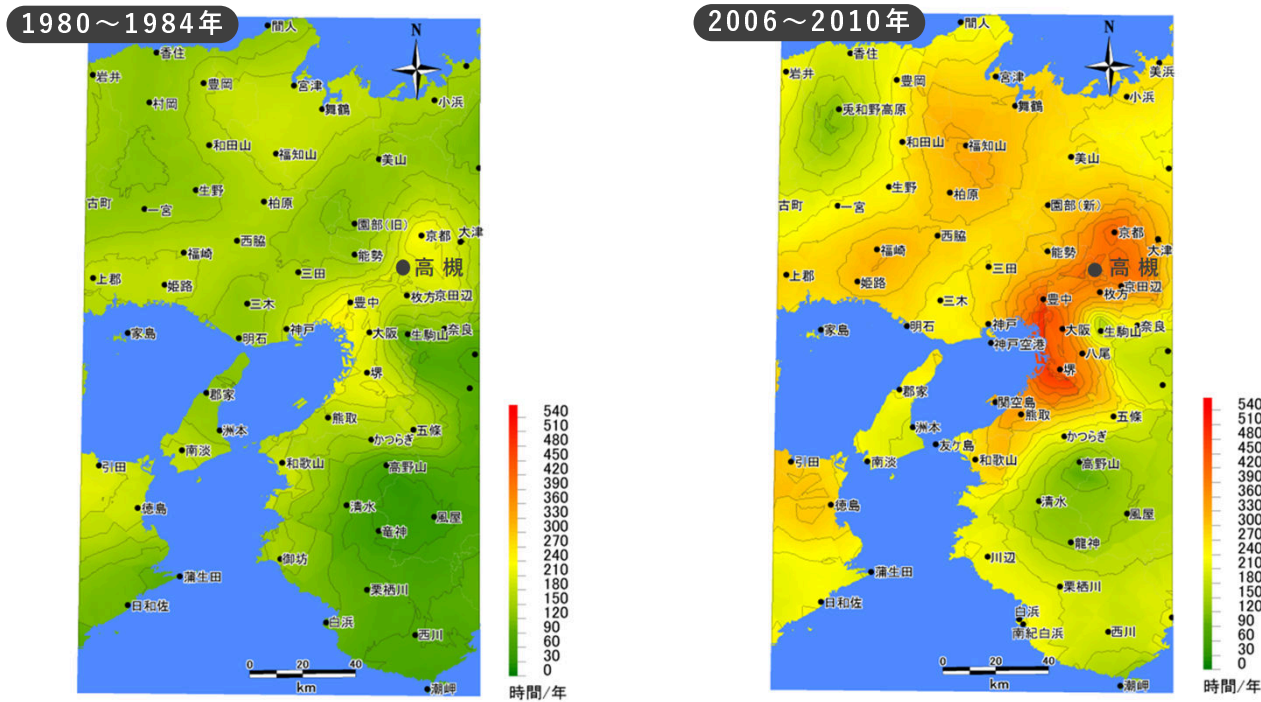


図 近畿地方の30°C以上の合計時間数の分布（5年間の年間平均時間数）

### 生産緑地地区

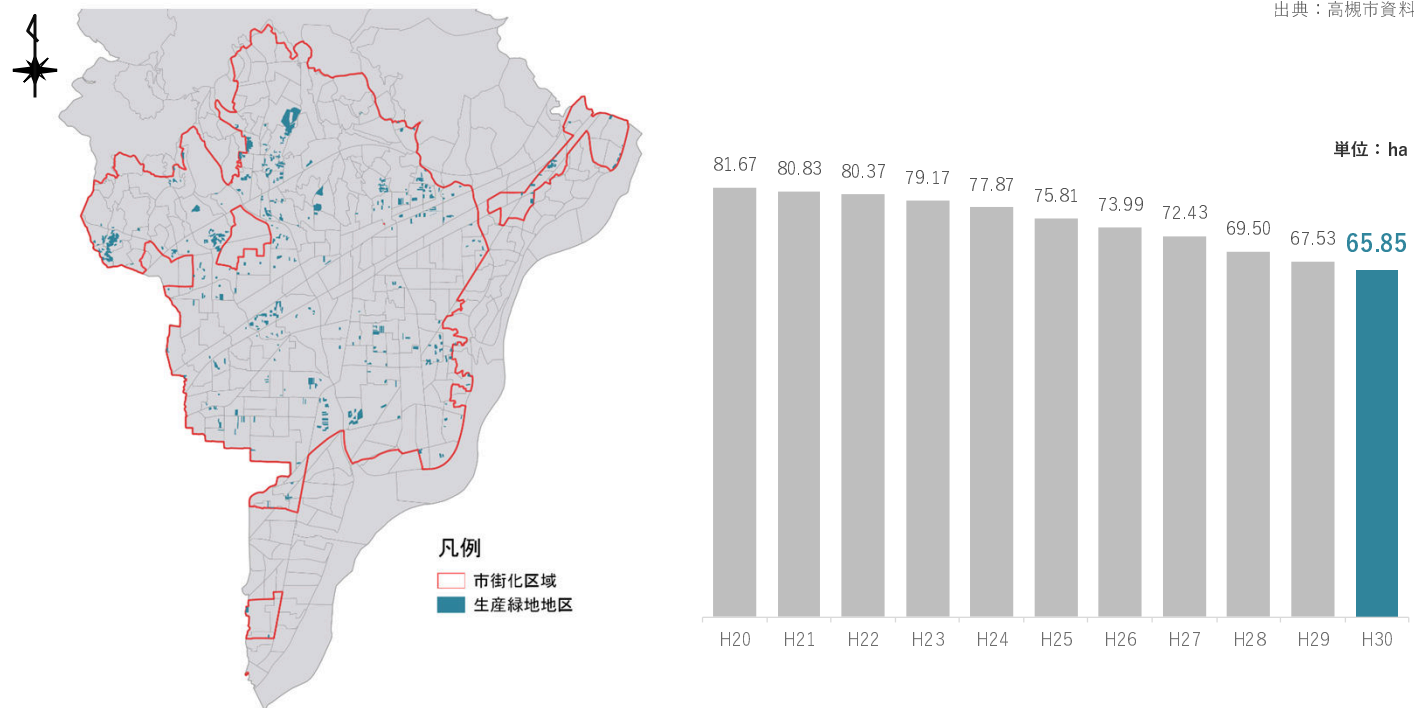


図 生産緑地地区の分布（平成30年度）

図 生産緑地地区面積の推移

### 地域資源

出典：高槻市資料

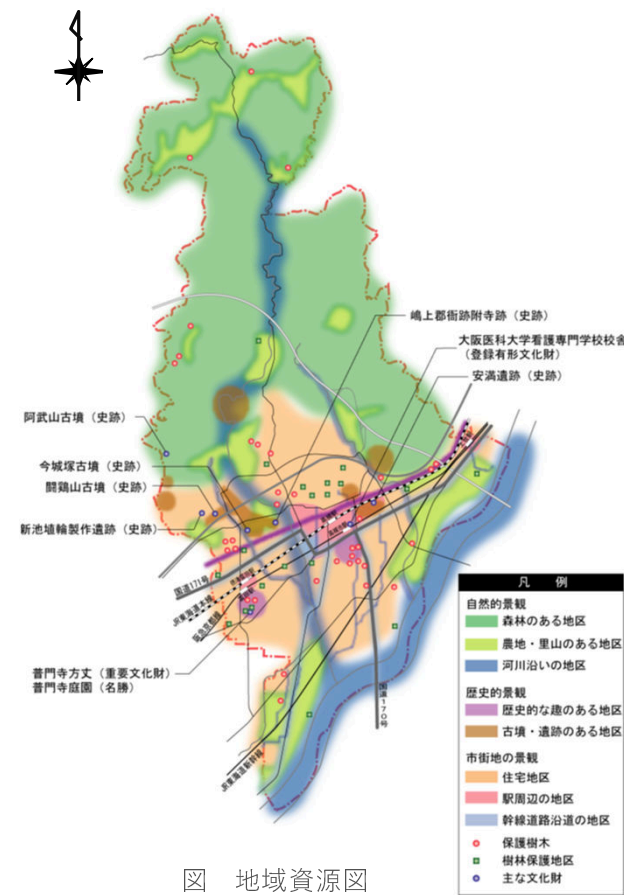


図 地域資源図



都市の現状・動向	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本市においても、大阪府北部地震、平成30年7月豪雨、平成30年台風第21号など、大規模災害が多発し、甚大な被害が発生</li> <li>● 全国各地で集中豪雨による浸水被害が発生し、本市においても平成20年度及び平成24年度に甚大な被害が発生</li> </ul>	度重なる災害の経験
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近年、全国的に大規模災害が多発しており、各地で甚大な被害が発生</li> <li>● 全国的に「非常に激しい雨」「猛烈な雨」の発生回数が増加</li> <li>● 今後も南海トラフ巨大地震等の大規模な自然災害の発生が懸念</li> <li>● 淀川氾濫による洪水浸水被害は、JR南側のほとんどの市街地での被害が想定</li> <li>● JR北側で土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の指定がされ、市街化区域内においても指定</li> </ul>	大規模災害の発生リスク
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各施設において計画的な耐震化への取組を実施</li> <li>● 災害時に住民等の安全を確保できる場所として、広域避難地を11箇所、準広域避難地を5箇所指定</li> </ul>	防災・減災に向けた災害への備え
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通事故件数は年々減少している一方、自転車関連事故割合は依然として3割を超え、歩行者関連事故は増加傾向</li> <li>● 大阪府内における自転車対歩行者事故件数は年々増加</li> </ul>	自転車対歩行者事故の増加

大阪府北部地震等の発生

**大阪府北部地震** 平成30年6月18日 出典：高槻市資料

震度6弱  
マグニチュード6.1

被害状況

- 建物被害（10月31日時点）  
全壊：11件  
大規模半壊：2件  
半壊：237件  
一部損壊：20,797件
- 水道管の破損 など

**平成30年7月豪雨** 平成30年7月5～8日

期間雨量 426mm（榎田地区）

被害状況

- 道路冠水：16件
- 崖崩れ：12件 など

**平成30年台風第21号** 平成30年9月4日

最大風速 54.7m/s

被害状況

- 建物被害、倒木等：1,000件以上
- 市域内通行止め：4路線
- 停電：14日間
- 断水：13日間 など

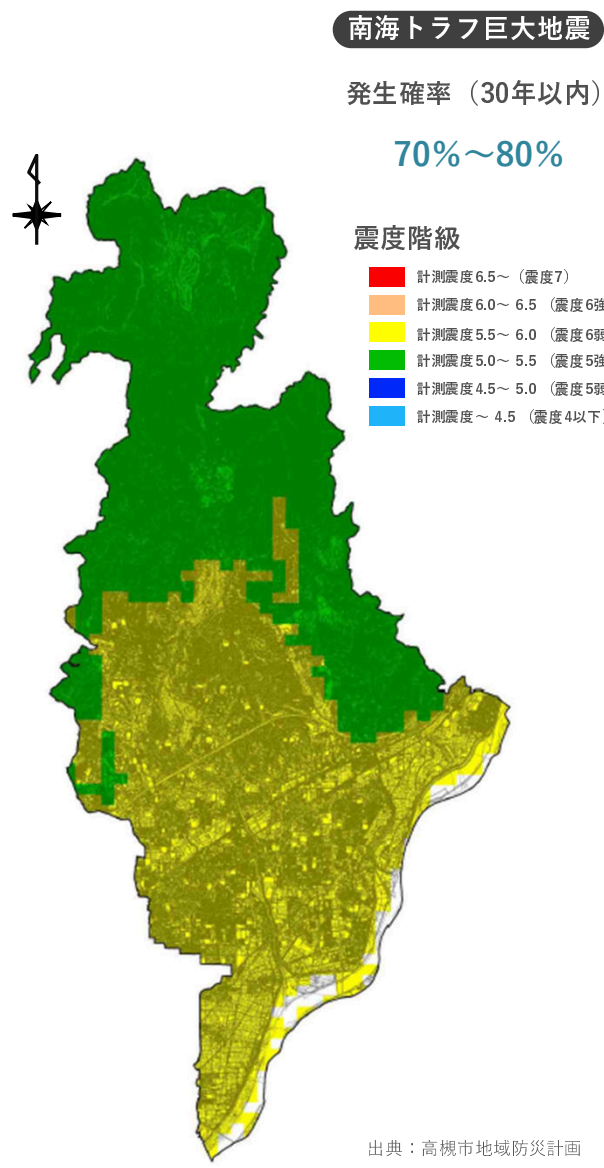


図 南海トラフ巨大地震の想定震度図

耐震化の状況

出典：高槻市資料

住宅	住宅総数 (戸)	耐震化済住宅 (戸)	耐震化率
平成27年	131,000	109,700	83.7%

※平成25年住宅・土地統計調査に基づく、平成27年推計値（出典：高槻市耐震化アクションプラン2017）

橋梁	耐震化対象橋梁 (橋)	耐震化済橋梁 (橋)	耐震化率
平成30年度末	29	13	44.8%

※耐震化対象橋梁：鉄道または広域緊急交通路、地域緊急交通路、接続避難路と交差する橋梁、地域緊急交通路、接続避難路として利用される橋梁、防災上、地域内の重要性が高い橋梁

上下水道	①浄水施設 耐震化率	②配水池 耐震化率	③基幹管路 耐震化率
平成30年度末	100.0%	99.8%	52.3%

公共下水道	延長 (km)	耐震化済延長 (km)	耐震化率
平成30年度末	179.3	69.8	38.9%

※一級河川・準用河川及び軌道を横断する管渠、緊急交通路下及び防災拠点や避難所等からの排水を受ける管渠等

土砂災害警戒区域

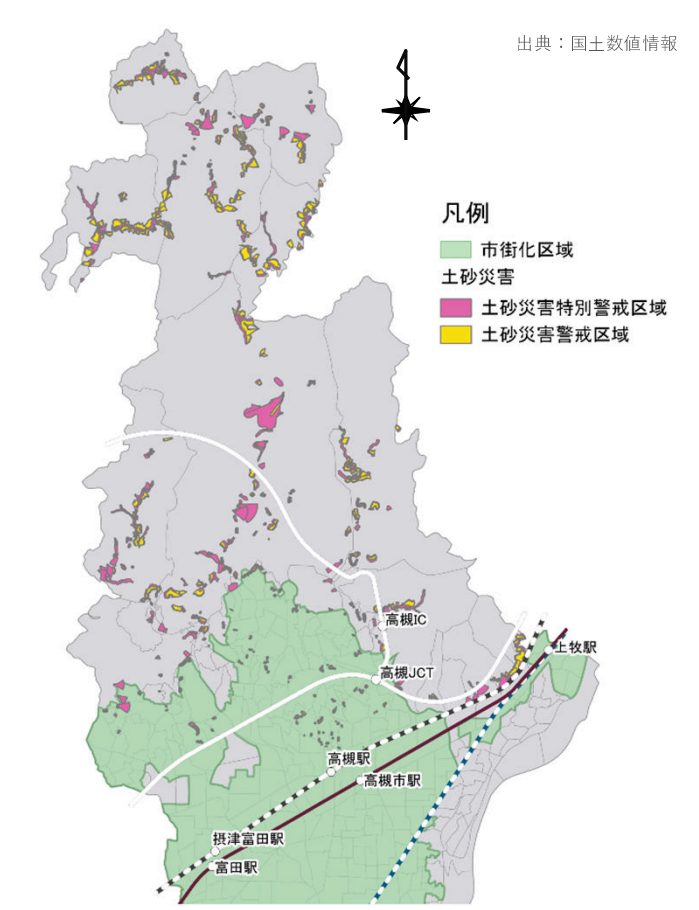


図 土砂災害警戒区域

洪水浸水想定区域

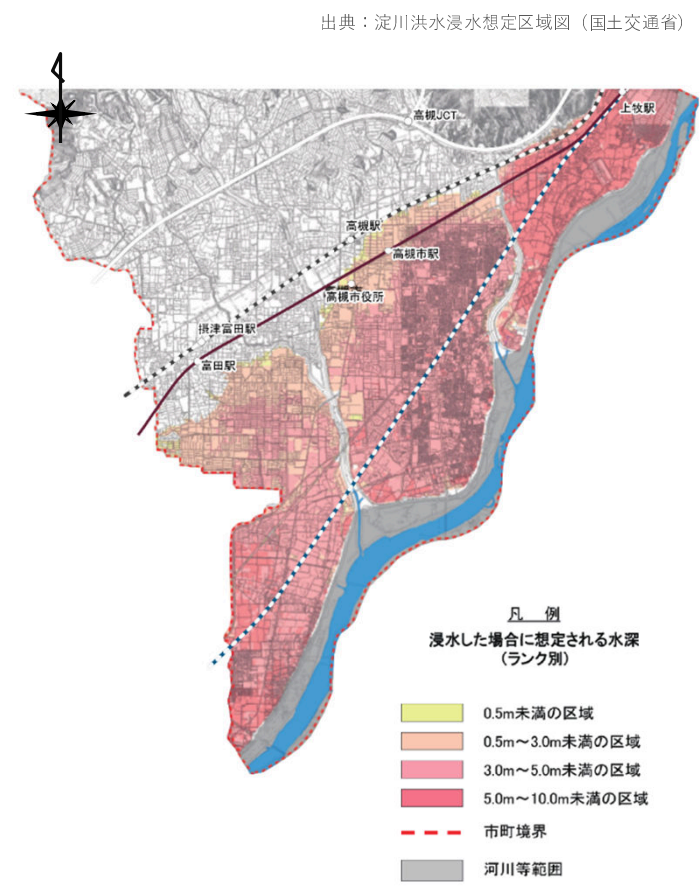


図 淀川洪水浸水想定区域（想定最大規模）（平成29年度）

交通事故の発生状況

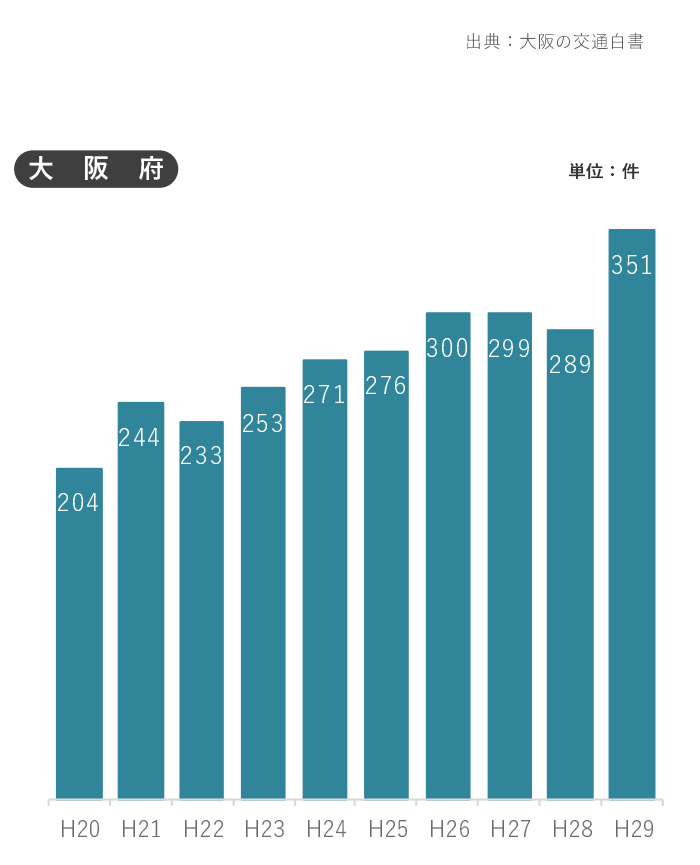


図 大阪府内における自転車対歩行者事故件数の推移

## 2-7 財政

### 都市の現状・動向

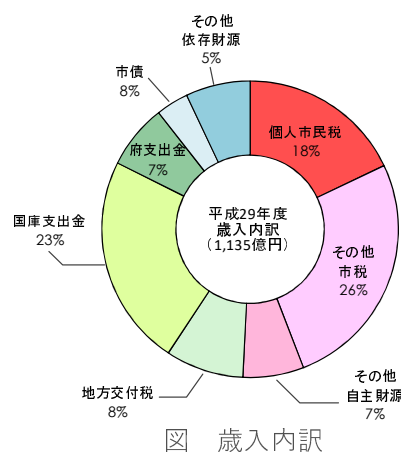
- 本市歳入のうち、自主財源は約5割で、自主財源の根幹となる個人市民税は約2割となっている
- 本市歳出における社会保障関係費は10年間で1.7倍に増加し、平成29年度においては全体の約4割を占める
- 長期的な財政状況は、本市歳入における市税は減少し、本市歳出における繰出金（介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）は増加する見通し
- 公共施設等の更新費等は、15年後から25年後にかけてピークを迎えると試算

厳しい財政見通し

公共施設等の更新時期の集中

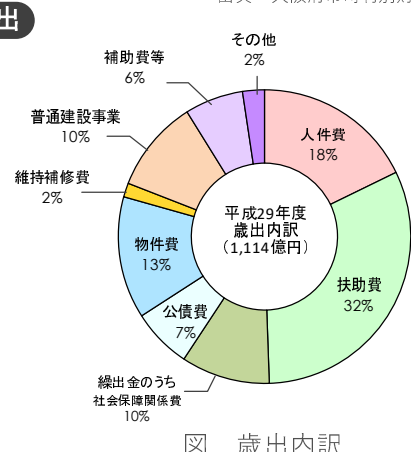
### 歳入・歳出

#### 歳入



※自主財源：個人市民税、その他市税（法人市民税、固定資産税、たばこ税、都市計画税）、その他自主財源（分担金・負担金、使用料・手数料、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入）

#### 歳出



※社会保障関係費：扶助費（社会福祉費、老人福祉費、児童福祉費、生活保護費衛生費、教育費）、繰出金のうち社会保障関係費（国保事業助定、老人保健医療事業、後期高齢者医療事業、介護保険事業助定）

### 長期的財政見通し

#### 歳入

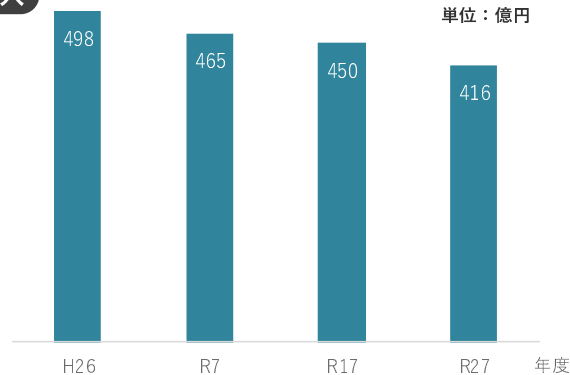
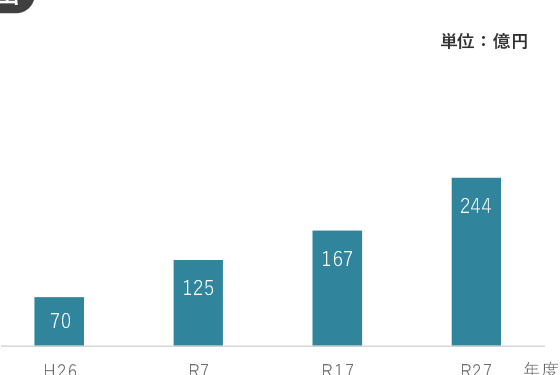


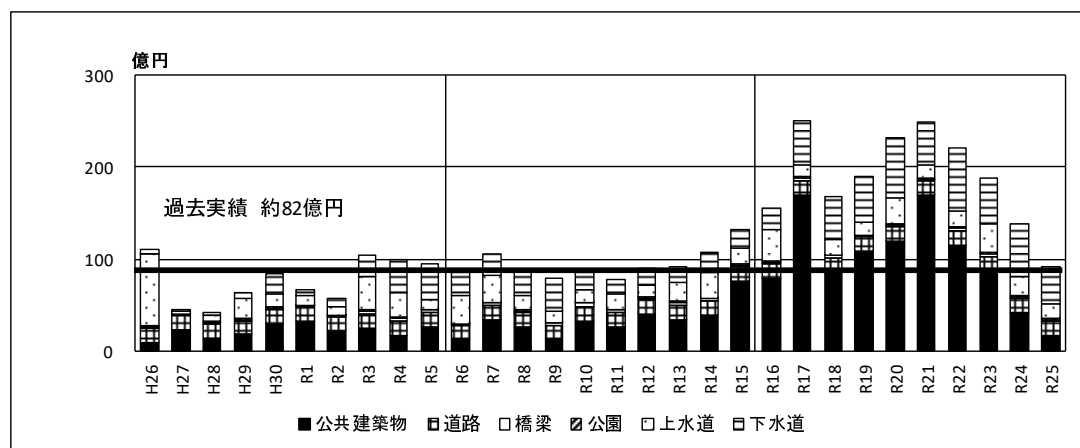
図 歳入（市税）見通し

#### 歳出



※繰出金：介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計への繰出金

### 公共施設等の更新費等



（※）過去実績は平成21～25年の実績

## 2-8 地域協働

### 都市の現状・動向

- 地域におけるまちづくりの企画・立案に対する住民参加の必要性に関して、「住民と市が協力してやるべき」との意見が多い
- 建築協定の締結数は48地区、地区計画の策定数は6地区
- 市内各地域において、住民自らが主体となり、地域の課題解決や魅力創出に向けた取組を行っている
- まちづくりを活動の目的とする高槻市所在のNPO法人の認証数は北摂他市と比較しても多い
- JR高槻駅北東地区では、エリアマネジメントの考え方による官民連携での維持管理による高質なまちづくりに向けた取組を実施

地域協働意識の高まり  
多様なまちづくり参画

### 住民参加の必要性

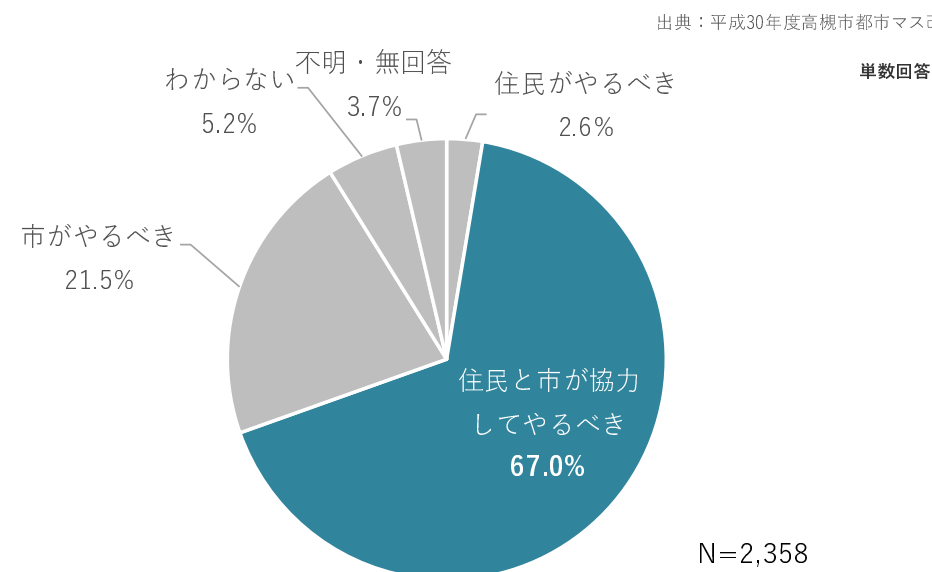


図 地域におけるまちづくりの企画・立案に対する住民参加の必要性

### 地域主体のまちづくり

#### 原成合線沿道のまちづくり（原地区）

##### 主な経過

- 平成20年  
地元有志が農地里山の保全に向けた研究を開始
- 平成26年4月  
「原里づくり連絡会」が発足  
特産品づくりや地域資源の魅力を発信するイベント等を実施



図 原成合線沿道のまちづくり（原地区）

#### 富田駅周辺のまちづくり（富田地区）

##### 主な経過

- 平成21年4月  
自治会や商業組合等による勉強会が  
「富田地区交通まちづくり基本構想」を策定
- 平成23年8月  
「高槻市富田三丁目地区まちづくり協議会」設立  
まちづくり、まちなみのルールづくり、魅力あるまちづくりの活動を開始
- 平成25年2月  
「富田にふさわしい道路に関する提言書」を市長に提出



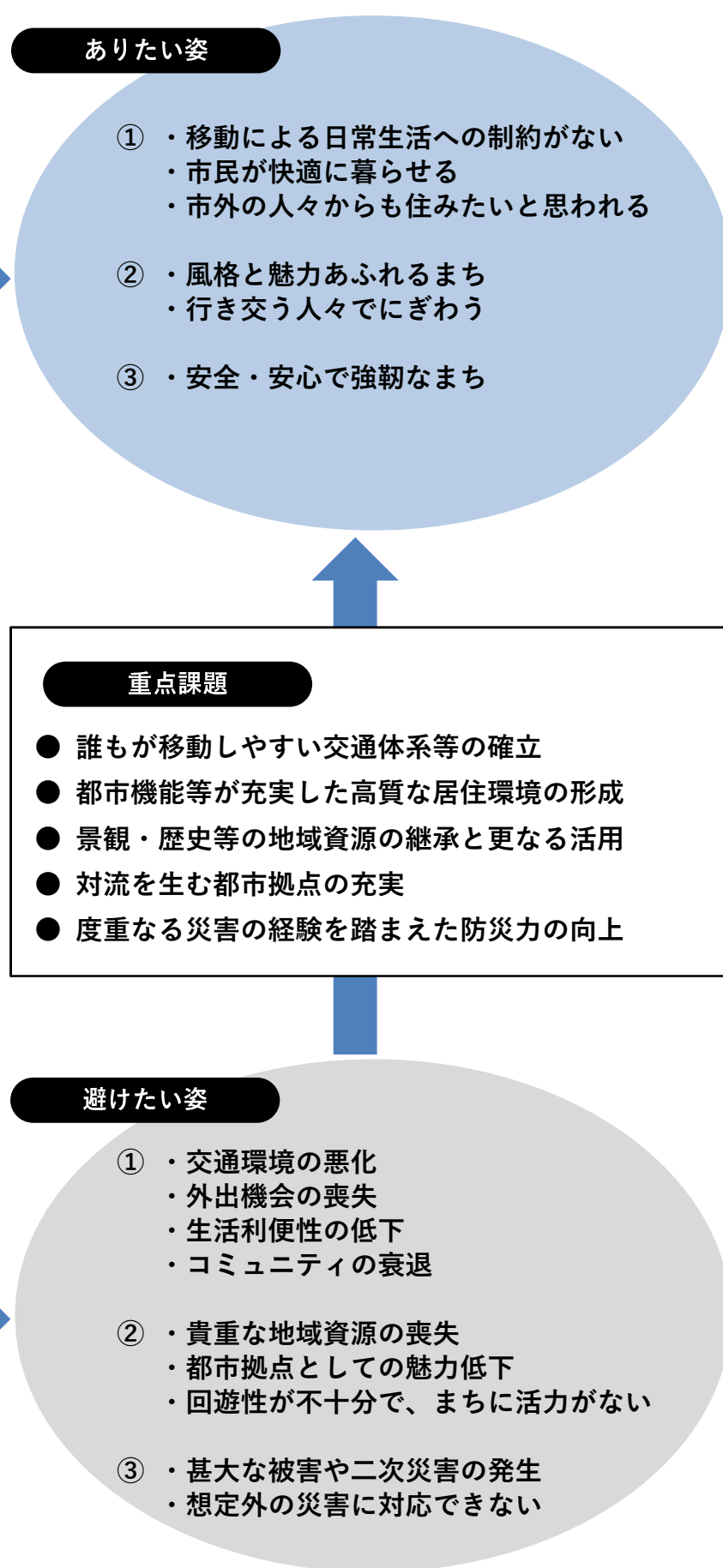
図 富田駅周辺のまちづくり（富田地区）

### 3 課題の整理

#### 都市の現状・動向

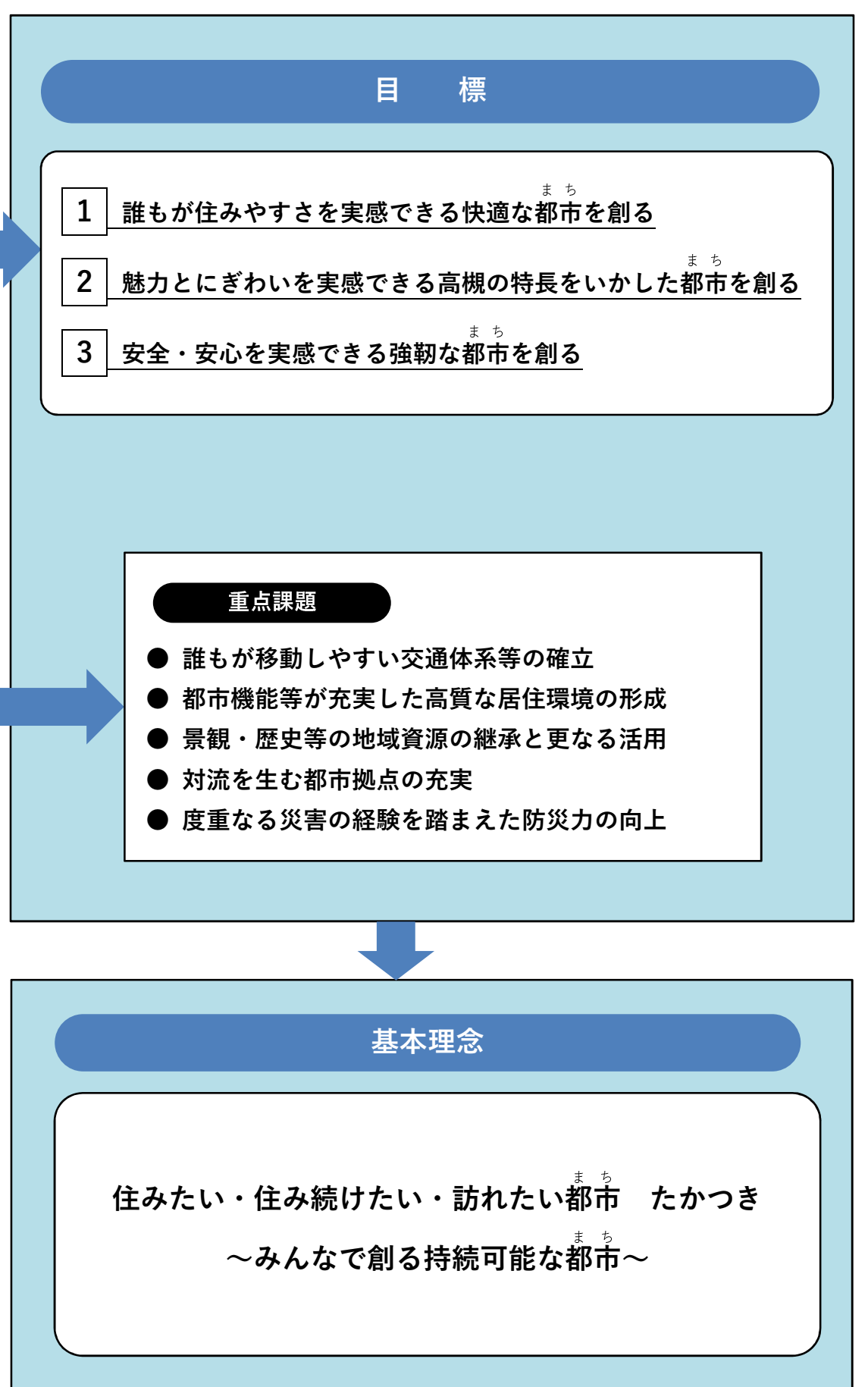
高槻市・ポジティブ		
都市と自然が共存	適切な土地利用の誘導	無秩序な開発の抑制
高水準な人口密度を維持	高い交通利便性	ベッドタウンとして発展
先進的なバリアフリーの取組	充実した都市機能	景観・歴史等の豊富な地域資源
度重なる災害の経験	多様なまちづくり参画	
高槻市・ネガティブ		
広域的な人口分布	狭隘な幹線道路等の存在	駅周辺の通行者数(平日)の減少
公共施設等の更新時期の集中		
全国的・ポジティブ		
居住ニーズの変化	ICTの活用	観光客数の増加
防災・減災に向けた災害への備え	地域協働意識高まり	
全国的・ネガティブ		
人口減少と高齢化の進行	家族形態の変化	市街地の空家が増加
農業従事者の減少と高齢化	地球環境問題の深刻化	都市にあるべき農地の減少
大規模災害の発生リスク	自転車対歩行者事故の増加	厳しい財政見通し

#### 課題整理



### 4 都市づくりの基本理念と目標

#### 都市づくりの基本理念と目標 (案)



## 5 地区別懇談会 結果概要

### 概要

期 間：11月16日～30日（15日間）

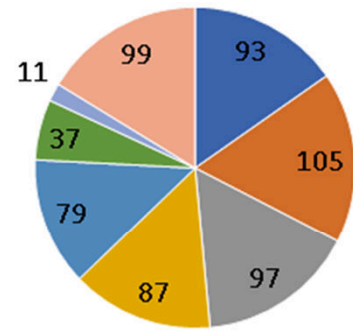
場 所：市内8箇所

調査方法：パネル展示及び来場者へのヒアリング調査

ヒアリング数：計608人

### 属性

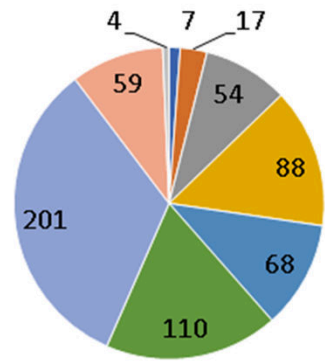
#### <会場別>



■ 富田公民館 ■ 市役所 ■ イオン ■ 関西スーパー  
■ 今城塚公民館 ■ 三箇牧公民館 ■ 榎田支所 ■ 服部図書館

富田公民館 (2日間)	93人
市役所 (4日間)	105人
イオン高槻店 (2日間)	97人
関西スーパー西冠店 (2日間)	87人
今城塚公民館	79人
三箇牧公民館	37人
榎田支所	11人
服部図書館 (2日間)	99人

#### <年齢別>



■ 20歳未満 ■ 20歳台 ■ 30歳台 ■ 40歳台 ■ 50歳台  
■ 60歳台 ■ 70歳台 ■ 80歳台 ■ 無回答

20歳未満	7人 (1.2%)
20歳台	17人 (2.8%)
30歳台	54人 (8.9%)
40歳台	88人 (14.5%)
50歳台	68人 (11.2%)
60歳台	110人 (18.1%)
70歳台	201人 (33.1%)
80歳台	59人 (9.7%)



## 6 今後の予定

### 令和元年度

8月6日	都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>常務委員会の設置について</li> <li>都市計画マスタープランの改定について</li> </ul>
10月29日	常務委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市づくりの現状と課題</li> <li>都市づくりの基本理念と目標</li> </ul>
11月16～30日	地区別懇談会の実施	オープンハウス形式 市役所（総合センター）など8箇所で開催
11月27日	常務委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市づくりの現状と課題</li> <li>都市づくりの基本理念と目標</li> </ul>
1月21日	都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市づくりの現状と課題</li> <li>都市づくりの基本理念と目標</li> </ul>

### 令和2年度

4月下旬	常務委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体構想</li> <li>地域別構想</li> <li>都市づくりの推進方策</li> </ul>
7月中旬	都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域別構想</li> <li>都市づくりの推進方策</li> </ul>
9月中旬	常務委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画素案</li> <li>パブリックコメントの実施について</li> </ul>
10月	パブリックコメントの実施	
1月中旬	都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画案</li> <li>パブリックコメントの結果</li> </ul>
3月末	計画改定（予定）	

※ 進捗状況等により、予定を変更する場合があります